



《あらかわバイロイト》のいま

6月公演 / ハンマー氏 GMD 就任 / 東京国際声楽コンクール / 2012-13 シーズン予告

文＝田辺とおる 《オペラ劇場あらかわバイロイト》オペラ監督

四月二十八・二十九日の《魔笛》公演を好評のうちに納めた《オペラ劇場あらかわバイロイト》は目下、「魔女とワルキューレの騎行くらべ」と題した六月公演の準備が佳境です。手前味噌ですが、これは非常にウチらしい企画ではないかと思っています。

ワグナーオペラの毎年公演を看板に《あらかわバイロイト》は二〇〇九年五月、スタートしました。《ワルキューレ》は二〇一〇年、《ヘンゼルとグレーテル》は二〇一一年に公演しています。その両者を一晚でお楽しみ頂こうという企画です。

グリム童話の《ヘンゼル》をオペラ化して作曲したのはフンパーディンク。ワグナー晩年の弟子です。残念ながら日本では学校公演として上演されることが多いためにピアノ伴奏や室内楽編曲など、管弦楽が大きく刈り込まれています。巨匠の影響を身近に受けた彼は極めて豪華なオーケストラパートを書きました。なかでも魔女がヘンゼルを食べるためにかまどに火を入れ、喜び勇んで箒にまたがり空を飛ぶシーンの「魔女の騎行」は、コマシヤルにも再三登場する有名曲の「ワルキューレの騎行」を強く意識した、姉妹作とも言える作品です。

ワグナーという人は童話の味わいも豊かで《ラインの黄金》の巨人や小人《ジークフリート》の鍛冶屋の歌、《パルシファル》の花の乙女、そして神の子たる女戦士が馬で空駆ける《ワルキューレ》の騎行などに表れています。しかしいずれも長大な作品の一場面です。子供を伴って劇場で聞くには適しません。フンパーディンクは巨匠

のそんな一面を有名童話に移し替えて、上手にブレンドしています。

さて、《あらかわバイロイト》も一つのビックニュースは、指揮者クリスティアン・ハンマー氏の音楽総監督 (Generalmusikdirektor・GMD) 就任です。大学を卒業してすぐ稽古ピアニストとして劇場に入り、以来三十年劇場一筋のキャリアを誇るベテラン指揮者で、当団創設以来、抜群の指導力でオケや歌手をリードしています。当団公演がレベルアップしたとの有難い評判を各所で伺いますが、その最大の功労者はハンマー氏をおいて他にいません。

ところで「いかに指揮者デビューするか」ということが、コンクール入賞を基盤にすることが多い日本と、ヨーロッパの伝統的手順はかなり異なります。

ドイツの若い指揮者はまず劇場に入り、遍歴の徒弟職人よろしく次々と劇場を変えながら稽古ピアニスト・副指揮者・第二／一指揮者などを歴任してキャリアを上げ、指揮者のトップである音楽監督を目指すのです。カラヤン・ベーム・サヴァリッシュ等、往年の大指揮者は皆、この道を辿りました(最近ではマネージメントの力で若い外国人指揮者がいきなり監督、という事例もあります)。

文字通り叩き上げのハンマー氏は、大変に丁寧なリハーサル指揮で歌手やオケを指導するだけでなく、出演歌手全員に自らピアノを弾いて個人レッスンしたり、大曲の時にはオケのパート練習まで指導するなど、大車輪の活躍

で稽古を司ります。加えて以前の共演者や、意欲的な指導の評判を聞いた人の個人レッスンも引き受けており、本当に信じられないような働き者なのです。

この度の音楽総監督就任を機に、ますます充実した稽古と公演が展開されていくことを我々も心から楽しみにしています。

クラシック音楽界のシーズンは、九月に始まり六月までが世界の標準です。当団も《ヘンゼルとワルキューレ》で年度納め。七／八月の欧米は夏の音楽祭シーズンですが、当団事務局は「東京国際声楽コンクール」に全力を傾注する時期になります。今年で四年目。予選会場を全国十九ヶ所に拡充し、多様な部門を設定して高校生やアマチュアの音楽愛好者からプロ歌手まで、様々な立場と水準で声楽に関わる皆さんが九月の本選を目指します。例年、数多くの一般部門入賞・入選者が、即戦力として当団オペラ公演にデビューしており、なかには主役を立て続けに歌って、すっかり看板歌手に定着した方もおられます。また高校入賞者が大学生になって《魔笛》の童子に出たり、大学入賞者が卒業して当団でプロデビューするなど、実に楽しい新人達との出会いが続いています。

本公演のトップバッターは特別演奏会。十月二十四・二十五日に大田区アブリコ大ホールにて、《影のない女》(Dシユトラウス) 抜粋《タンホイザー 第二幕》というプログラムで、角田和弘・福田玲子といった当団ワグナー公演のスターたちが揃います。《タンホイザー》はワグナー生誕二百年の二〇一三年四月二十七／二十九日、《影のない女》はシユトラウス生誕百五十年の二〇一四年に、それぞれ全曲舞台上演を予定しています。

そして今年のワグナー公演は十一月二十三／二十五日の《ラインの黄金》。人気アニメの「新世紀エヴァンゲリオン」を制作したガイナックス社との共同制作で、同社社長でアニメ監督の山賀博之氏が演出いたします。さらに男性コンテンポラリーダンス集団のコンドルズが共演。アニメ監督らしくCGを使った舞台を計画中です。オペラとしては極めて斬新な顔合わせですが、映画「ロード・オブ・ザ・リング」と同系の話である《ニーベルングの指輪》序夜にはピッタリと確信しています。

最後に来シーズンを予告致しましょう。九月二十・二十一日はオペラセミナー修了公演。明日の本公演主役を目指す若い才能が七・八月の当団オペラのない時期に研鑽を積んで、主役パートの歌と芝居を稽古した成果を持ち寄ります。

おかげさまで《あらかわバイロイト》の活動は各種メディアに取り上げて頂いており、このたびクラシック音楽家のインタヴューサイトとして有名な「クラシック・ニュース」が僕のインタヴューを採用して下さいました。また当団公演のいくつか、ハンマーの指揮映像などもYoutubeでご覧いただけます。

進化する《あらかわバイロイト》に今後とも皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

写真・長澤直子

オペラ劇場あらかわバイロイト 第4回 魅惑のドイツオペラ

魔法とワルキューレの「騎行くらべ」

あらかわバイロイト 検索

Hänsel und Gretel

ハンゼルとグレーテル

・準舞台上演・

Die Walküre

ワルキューレ

・第3幕抜粋・演奏会形式・

指揮(A/B)

クリスティアン・ハンマー

指揮(C)

高山美佳

演出

馬場紀雄

2012年6月26日(火)A 27日(水)B 28日(木)C

■いずれも19:00開演(18:30開場)

東京・サンパール荒川 大ホール

全指定席：S席 ¥12,000 A席 ¥10,000 B席 ¥6,000 C席 ¥4,000

チケットご予約・お問合せ

東京国際芸術協会 03-3809-9712 (平日9:30~18:30) tiaa-jp.com

電子チケットぴあ 0570-02-9999 P.170-440 (5月25日発売)

主催：●TIAA 一般社団法人 東京国際芸術協会 協賛：株式会社マエストロ 協力：東京音楽学院

第4回東京国際声楽コンクール

部門：高校生、大学生、新進声楽家、一般、音楽愛好者、オペレッタ、歌曲、アンサンブル 予選：6月30日~8月12日全国19会場 准本選：【東日本】8月30日、31日【西日本】9月1日、2日 本選：9月22日、23日

審査委員長：川上洋司(東京藝術大学教授・東京音楽大学講師)

賞：第1~5位、奨励賞、審査員特別賞、ほか

副賞：オペラ・演奏会への出演や観覧招待、国内講習会や留学支援

《オペラ劇場あらかわバイロイト》第二回オペラセミナー

■「魔笛」「ヘンゼルとグレーテル」「フィガロの結婚」「コジ・ファン・トゥッテ」「愛の妙薬」「ラ・ボエーム」ほか修了公演付きセミナー受講生募集!

実践的な発音・音楽表現・舞台表現などを多角的に勉強できる作品を選び、名場面集による修了公演で本番の舞台を経験する《歌手のためのオペラトレーニング》です。【言語・セリフ・音楽指導】：田辺とおる【演出・演技指導】：馬場紀雄【音楽指導】：河合良一 ■期間：6月29日~9月21日

お問合せ・資料請求：東京国際芸術協会 03-3809-9712 tiaa-jp.com

ハンゼル

グレーテル

魔笛

ヴォータン

A 向野由美子

B 小泉詠子

C 高柳佳代

A 藤野沙優

B 吉丸真樹子

C 工藤夏子

A 盛田麻央

B 山邊聖美

C 萩原雅子

A 岸七美子

B 広瀬なるみ

C 矢野裕紀子

A 小畑朱実(A/C)

B 細見涼子(B)

A 清水麻依

B 中前美和子

C 大石悦代

A 田辺とおる

B 高橋祐樹

C 金努

A 清水麻依

B 徳武雪子

C 齋藤青麗

A 平館直子

B 榊里美

C 工藤夏子

A ヘルムヴィーゲ

B ゲルヒルデ

C オルトリンデ

A 片山孝調

B 片山孝調

C 片山孝調

A 片山孝調

B 片山孝調

C 片山孝調

オペラ劇場あらかわバイロイト

総支配人 東京国際芸術協会理事長 片山孝調

音楽総監督 クリスティアン・ハンマー

オペラ監督 田辺とおる

管弦楽：TIAA フィルハーモニー管弦楽団

*東京国際声楽コンクール本選入賞・入選・准本選入選者